

「空想の森」上映会を終えて

上映有志の会 中居敦子

10月23日(土)「空想の森」上映会を友の家で開催しました。お客様と、そして上映会スタッフや協賛して下さった方々を含めると200人を越える参加となりました。

今回のこの上映会は、大津友の会の有志で計画しました。滋賀会館でのこの映画との出会いから、まさに直感的に良いと思ったことを、疑わず、ためらわず行動して良かったなと思っています。言葉にしにくい、アピールしにくい内容でもありましたので、対面して広げる事も大切になりました。その分大変でしたけれども、だからこそ様々な出会いがあり、一歩また一歩と作り上げた映画会になったと思います。

上映中は、笑いや話し声も聞かれ、お客様は、くつろぎながら映画に入り込んでいる感じで、とてもいい雰囲気だったと監督から言っていました。ただ、それが何より嬉しいことでした。映画が終われば、監督は引つ張りだこでしたし、小ホール「であいの森」も準備する中でつながる事の出来た方たちと共に終始和やかな空気に

包まれました。(大津環境フォーラム、有機農業の「くろだ農園」、杉本さんのお嬢さんの「ナチュラルスイーツ実り」、よつ葉、フェアトレードコーヒーの「グリーンアイズ」、近江スロライフの会、前進座、そして共働学舎からのチーズ。わが友の会も生活部、子ども部、生産、共同購入の協力を頂きました)

上映会が近づくにつれ、有志の会以外にもたくさんの方が見えないうちで黙々と準備を整えて下さっていることに気付かされました。誰の指示でもなく、皆がそれぞれに良いと思う事、こうしたいと思う事が自然に合わさって会を盛会に導いたこと、とても嬉しく思っています。ありがとうございます。

《映画「空想の森」の上映に感謝》

総リーダー 白井朋子

10月23日は朝から「空想の森」の映画を観に来られたお客様で大津友の家はいっぱいになりました。終わった後、映画監督のお話もあり、お客様は口々に「良かったね」と顔を見合わせておられました。他の友の会の方も多くいらして、旧交を暖めておられる様子でした。午後もし映されましたが、実に多くの

方々が参加して下さいました。

実は今回の企画は、婦人之友を読む会の人達が入映有志の会として発起人となり、内容の良い映画をぜひ観ていただきたいとの熱意から、ねばり強い準備をされ実現したものだっただけです。お客様へのお誘いは、私達も一生懸命でしたが、発起人の人達は当初、赤字も覚悟でしたが、それが予想以上の参加者を得て大いに賑わう結果となりました。

当日の友の家の大ホールは映画館の設えがされ、調理室ではココナツの香り高いインドカレーが出来上がり、小ホールでは生産のお菓子や、地産地消の野菜、そして映画の中にも出て来た共働学舎のチーズ等が並び、販売され、どこもお客様でいっぱい、大津友の家が暖かい交流の場となりました。有志の会の人達の熱意のもとに皆が一つに結集して、結果として成功を収め、採算も黒字となり、大津友の会に多くの寄付金を頂きました。有志の会の皆様、当日働いて下さった方々、そしてお誘いをして下さった会員の皆様、ほんとうにお疲れさまでした。ありがとうございます。目標を持って心ひとつに皆が力を合わせたことに神様は贈物を下さったのだと思います。